

教育相談	2年・後期	2単位 30時間	非常勤講師 音山若穂
科目カテゴリー	教職科目	科目ナンバリング	37011332 37011292 (2022年度生以降)

1. 授業のねらい・概要

養護教諭一種免許状の取得に必要な教育相談の知識を身につけることを目標とする。すなわち児童生徒の発達の状況に即しつつ、個々の心理的特質や教育的課題を適切に捉え、支援するために必要な基礎的知識（カウンセリングの意義、理論や技法に関する基礎的知識を含む）の習得である。学生は、前半は講義が中心、後半は諸技法についての演習を中心とした授業を受けながら理解を深める。

2. 学修の到達目標

1. 教育相談についての基本的な考え方について、生徒指導提要の内容を踏まえた説明ができる。(D-5)
2. カウンセリングの基礎知識や実際について、教職教養レベルの説明ができる。(D-5)
3. カウンセリングの基礎技法について、その概要を説明することができる。(D-5)

3. 授業の進め方

前半は「生徒指導提要」を中心とした講義形式で、教育相談の基本的な考え方や基礎理論の講義、生徒や学校をめぐるさまざまな今日的課題、学校内外における教育相談の実際について解説する。続いてカウンセリングの諸技法、特に発達支援的技法について、スキルを身に付けるための授業を行なう。さらに、以上の知識を活かしながら教育相談の計画の立て方と進め方についての解説も行なう。

【アクティブ・ラーニング実施の有無】

アクティブ・ラーニングとして、グループワーク、リフレクションを行なう。

【ICT活用の有無】

ICT活用の実施：Classroom等による、学習課題や学習教材の提示・配信、学習課題の提出等。

4. 授業計画（講義・演習）

回	授業内容	授業形態	事前事後学修（学修課題）	担当
1	はじめに（授業の進め方等） 学校における教育相談の意義と課題	講義	予習：生徒指導提要第1章（p12～p14）を読んで理解する。 復習：教育相談の意義について5行程度でまとめる。	音山若穂
2	教育相談における校内での組織的 取り組み	講義	予習：生徒指導提要 p68～p70 を読んで理解する。 復習：教育相談における校内組織について5行程度でまとめる。	音山
3	地域の医療・福祉・心理等の専門 機関との連携や意義	講義	予習：生徒指導提要 p107～p108 を読んで理解する。 復習：学校と家庭、地域との連携・協働について5行程度でまとめる。	音山
4	教育相談に関わる心理学の基礎的 な理論・概念	講義	予習：生徒指導提要 p23～p26 を読んで理解する。 復習：発達およびカウンセリングに関する主要キーワードをまとめる。	音山

5	学校教育におけるカウンセリングマインド	講義	予習：生徒指導提要 p55～p58 を読んで理解する。 復習：心理教育的集団アプローチについて5行程度でまとめる。	音山
6	生徒の不適応や問題行動等のアセスメント	講義	予習：児童生徒の問題行動不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査の結果の概要を読んで理解する。 復習：アセスメントの基本的な考え方について5行程度でまとめる。	音山
7	生徒の諸課題に対する発達に応じた相談の進め方ーいじめー	講義	予習：生徒指導提要第4章を読んで理解する。 復習：いじめ防止対策推進法の概要について簡単にまとめる。	音山
8	生徒の諸課題に対する発達に応じた相談の進め方ー不登校ー	講義	予習：生徒指導提要第10章を読んで理解する。 復習：重層的支援構造について簡単にまとめる。	音山
9	カウンセリングの基礎技法ー傾聴スキル	講義 演習	予習：傾聴とは何かについて調べる。 復習：傾聴スキルトレーニングの振り返りを5行程度でまとめる。	音山
10	カウンセリングの基礎技法ーエンカウンター	講義 演習	予習：構成的エンカウンターとは何かについて調べる。 復習：エクササイズの振り返りを5行程度でまとめる。	音山
11	カウンセリングの基礎技法ーSST	講義 演習	予習：SST（ソーシャルスキルズトレーニング）とは何かについて調べる。 復習：トレーニングの振り返りを5行程度でまとめる。	音山
12	カウンセリングの基礎技法ーストレスマネジメント	講義 演習	予習：ストレスマネジメントとは何かについて調べる。 復習：コーピングスキル体験について5行程度でまとめる。	音山
12	カウンセリングの基礎技法ーピア・サポート	講義 演習	予習：ピア・サポートとは何かについて調べる。 復習：トレーニング体験の振り返りを5行程度でまとめる。	音山
14	教育相談の目標の立て方と進め方の実際ー生徒への対応	講義	予習：前時に配布する相談事例を読んで理解する。 復習：対応のポイントについて簡単にまとめる。	音山
15	教育相談の目標の立て方と進め方の実際ー保護者への対応	講義	予習：前時に配布する相談事例を読んで理解する。 復習：対応のポイントについて簡単にまとめる。	音山

5. 成績評価の方法・基準

毎時間に提出を求めるミニレポート（60％）の提出状況、および期末レポート（40％）の提出状況および内容を合算して評価する。評価対象物は、「2. 学修の到達目標」に示した達成状況を、ルーブリック評価を基に、5段階評価で採点する。ルーブリック評価に関する詳細は、第1回講義内で別途説明する。課題レポート、期末レポートの〆切・提出方法、内容は講義中に説明するとともに、フォーマットはclassroom上に保存する。

6. テキスト・参考文献

テキスト：生徒指導提要（文科省サイトからダウンロードできる。方法は第1回講義で指示する）

7. 準備学習に必要な時間、又はそれに準じる程度の具体的な内容

シラバスの授業計画の範囲および、事前事後学修（学修課題）について最低 90 分の予習及び授業内容について最低 90 分以上の学習を行なうこと。

8. 受講上の留意事項

特になし。

9. 課題に対するフィードバックの方法

提出された課題は教員が内容をチェックして返却する。フィードバックは返却時の授業で行う。

10. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

教職必修科目であり、修得できない場合は免許状取得不可となる。

11. 該当する本授業は、以下の実務経験を活かして実施される

該当しない。